

経皮的動脈弁植え込み術施行にて入院される患者様の入院経過に関するお知らせ

大動脈弁狭窄症にて、経皮的動脈弁植え込み術を施行される患者様は、入院の経過、検査、治療に対し多くの不安を抱えていると思います。そこで当院では対象の患者様へ治療経過がわかる計画書（以下クリニカルパス）を作成しました。

クリニカルパスとは、入院から退院までを、検査・治療・日常生活・リハビリなどの項目別に表記することで、患者様に流れを理解していただきます。安全でより安楽な入院生活が送れることを目的とし、医療・看護の質の向上を図ることを目標としています。

今回、このクリニカルパスを作成、運用するにあたり、クリニカルパス適応患者様より、調査を施行させていただきます。在院日数の見直しや入院から退院までの流れに改善が必要か評価させていただく事となりました。この調査をするにあたり、今後の医療・看護の質の向上に貢献できるよう調査して参りたいと思います。

【研究の対象・期間・調査内容】

小倉記念病院において 2018 年 4 月、クリニカルパス運用開始後～2018 年 7 月末の期間に入院され、大動脈弁植え込み術を施行された患者様を対象としています。調査期間内に入院された患者様の診療録から、入院期間や検査・治療・日常生活・リハビリ等の情報を統計学的に分析させていただきます。
対象となることを希望されない方は、下記連絡先へ御連絡ください。

【個人情報の管理について】

個人情報の漏洩を防ぐために、個人特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧できないようにしております。また本研究の公表（学会や論文等）の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡。問い合わせ先】

小倉記念病院 C8 階病棟 看護師 渡邊真依
〒802-8555
北九州市小倉北区浅野三丁目 2 番 1 号

電話 093-511-2000 (代)